

# 徳とく泉く寺ほ報う

No. 9 9

発行

令和8年1月

発行元 徳泉寺

仙台市宮城野区

榴岡3-10-3

(022)297-4248

[tokusenji.sendai@gmail.com](http://tokusenji.sendai@gmail.com)

[ai@gmail.com](mailto:tokusenji.sendai@gmail.com)



ホームページ

[tokusenji-sendai.com](http://tokusenji-sendai.com)

[tokusenji-sendai.com](http://tokusenji-sendai.com)



Instagram

[tokusenji.sendai](https://www.instagram.com/tokusenji.sendai)



TOKUSENJI.SENDAI

すべてのひとに 今日がある

あることかたき 今日である

ふじしろとしまろ  
藤代聴磨

## 新年に寄せて (修正会挨拶)

前任職 関口秀和

あけましておめでとございます。本年もよろしく願っています。

私事ながら、昨年八十一歳になりました。お陰様でまだ声も出ており、現

役の僧侶としてこうして皆様の前に立たせていただいています。昨年は妻と二人、旅行へも4回出掛けました。私の父は七十四歳で亡くなりました。しかし私はまだまだ仕事ができ、旅もできる、こんな幸せなことはないと思っています。そう思っただけで、一日一日大事に生きています。つわりでも夕方になると、また、(ああ、またぼんやりと終わってしまった。)となるのが日常です。足腰が痛くなってきた不安もあります。自分でも動いて皆さんとお会いできることに感謝して今年もいきたいと思います。

修正会は、元日に神社にお参りをしてもお寺にはお参りに来られる方が少ないということで、今から二十五年くらい前に始めました。ご先祖様あつての私、一年の目標をご先祖様の前で立てていきたいものです。



「すべてのひとに 今日がある あることかたき 今日である」

真宗の僧侶、藤代聴磨さんの言葉です。あることかたき、とはあることが難しいということ、有り難いということです。私たちは縁起、縁によって起こる関係性のなかを生きています。花に例えれば、種を「因」とし、光や水や土を「縁」として花を咲かし「果」実を結ぶ。「因・縁・果」の関係です。今日、この場合も「お正月」という縁、お寺という縁、そして修正会という縁があつてこうして皆さんが集う法要が営まれています。こうした無量無数の縁が集まり、ものごとが起こるなかで「あることかたき」今日を迎えることができる訳です。

あることが難しいことを有難いことだと思つと同時にそのことはとても「不思議」「不可思議」なことでもあります。「思議」とは自分の思いや考え。そこに「不」がつくから「不思議」「不可思議」それは自分の思いが届かないということ。自分の思いや考えを越えたところにあるご縁によって今日があります。私の好きな歌の一節に「生きている不思議 死んでいく不思議 花も風も街も みんな同じ」という言葉があります。

命を終えてなお、その縁を繋いでいく存在もあります。本年も皆様と共に、今日一日を大切にいただいきたいと思つています。



住職 関口真爾